

母子生活支援施設における支援のあり方に関する研究

関連キーワード：母子生活支援施設、母子世帯、貧困問題

研究内容

児童福祉施設のひとつであり、社会的養護における施設養護を担う施設のひとつでもある母子生活支援施設について、支援のあり方を中心に研究しています。

母子生活支援施設を利用している母子世帯は、何らかの生活問題を抱え、地域での生活が困難となった世帯です。その実態を紐解くと、背後には母子世帯の貧困問題があり、さらにその奥には就労と子育ての両立を困難とさせる子育て支援施策の不備・不足、ワーキング・プアや非正規雇用といった労働者を取り巻く雇用・労働問題が透けてみえます。それが特に女性労働者に顕著に表れており、子育てとの両立を強いられる母子世帯の母親のところでより明確に顕在化してきます。

このような状況下に置かれる母子世帯を対象とした研究を通して、子育て世帯が直面する生活問題に対する政策の課題点を明らかにしています。さらに、支援の現場である母子生活支援施設の運営や支援のあり方に関する研究を通して、入所世帯はもちろんのこと地域で生活する子育て世帯の抱える生活問題の解決・改善の方法についても研究をしています。

研究者プロフィール

地域総合学部政策デザイン学科 准教授 武藤敦士

専門分野：社会福祉学

研究分野：母子世帯の貧困問題、母子生活支援施設における支援のあり方

所属学会：日本社会福祉学会、社会政策学会、日本地域福祉学会、日本自然保育学会

主な経歴、著書 など

高田短期大学子ども学科助教、東北学院大学経済学部共生社会経済学科講師を経て現職。主な著書に、『母子生活支援施設の現状と課題』（2020年、みらい）など。



地域・产学官連携の可能性、事業化のイメージ 他

自治体の子ども・子育て会議や社会福祉協議会の地域福祉活動計画推進委員、母子生活支援施設や児童養護施設など社会的養護における施設養護を担う施設の職員研修講師などを引き受けました。

研究者への連絡先

E-mail : muto@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

产学連携推進センター

Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122